



◆ 問6～問10については、今回、参加されている立場のPTA活動についてお伺いします。

問6 あなたの所属しているPTAは、家庭教育に関する学習の場を会員に提供していますか。

ア いる 1年間で( )回 イ いない

(1) 問6で、ア いる と答えた方は、その内容を、イ いない と答えた方は、やってみたいことを自由にお書きください。

(2) (1)の学習の場を、どのような団体等と協力して行っていますか。または、行いたいですか。

ア 県や市町教育委員会（生涯学習課・公民館等） イ 福祉関係  
ウ 親学習プログラム指導者 エ 家庭教育オピニオンリーダー  
オ 企業 カ その他（ ）

問7 あなたの所属しているPTAは、会員同士のつながりを作るようなことに力を入れていますか。

ア いる イ いない

(1) 問7で、ア いる と答えた方は、その内容を、イ いない と答えた方は、会員同士のつながりを作るためにやってみたいことを自由にお書きください。

問8 あなたの所属しているPTAは、会員同士のコミュニケーションを増やす活動に力を入れていますか。

ア いる イ いない

(1) 問8で、ア いる と答えた方は、その内容を、イ いない と答えた方は、会員同士のコミュニケーションを増やすためにやってみたいことを自由にお書きください。

問9 あなたの所属しているPTAは、行事等への父親の参加率はどの程度でしょうか。

ア どの行事も参加率が高い  
イ 行事によっては参加率が高い  
ウ 参加率は低い

(1) 問9で、ア どの行事も参加率が高い、イ 行事によって参加率が高い と答えた方は、参加率の高い行事名を、ウ 参加率は低い と答えた方は、父親の参加が増えるようなテーマなどを自由にお書きください。

問10 今後、PTA活動における家庭教育支援を充実させるために、どのような工夫が出来ると思いますか。

(1) どのような内容をみんなと一緒に学習したいですか、テーマなどを自由にお書きください。（教職員、行政関係者は、どのようなことを保護者に学んでほしいですか。）

(2) PTA活動における家庭教育支援の効果をあげるために、協力したい団体等がありましたら、お書きください。

御協力ありがとうございました。

# 市町における家庭教育支援事業に関する取組状況調査〔調査票1〕

資料2

## 御協力をお願い

本調査は、家庭教育支援の御担当の方が御回答ください。

調査に御協力いただき、ありがとうございます。

この調査は、栃木県内の市町の生涯学習担当課で行われている家庭教育支援事業に関する状況を把握し、今後の家庭教育支援の施策等に活用するためのものです。回答は統計的に分析します。それぞれの質問をよく読み、お答えください。

## 回答いただく際の注意点

- ・生涯学習担当課等が中心となって教育委員会で実施している平成29年度の家庭教育支援事業(今後、実施予定分も含む)についてお答えください。
- ・切れ目のない支援が行われているかを把握したいので、貴市町の他部局で行っているものについても把握している場合は、お答えください。
- ・公民館については、別途、各公民館等で御回答していただくことになっておりますので、記入の必要はありません。
- ・シリーズで行っているものは、全部で1とカウントしてください。(例)毎月行っているもの(12回実施)は、「1つ」と数える。
- ・記述(ブルー系色)は、できるだけ具体的に御記入をお願いします。
- ・選択(赤系色)は、プルダウンの選択肢から選んでください。該当する選択肢がない場合は、「その他」を選んで矢印「→」の示す記述欄に御記入をお願いします。
- ・選択肢の中で「他の世代の保護者も含めて行っている」とした場合、その世代の欄にも同じようにお答えください。
- ・黄色の欄は、調査用紙の選択肢(①～⑩)から選び、番号でお答えください。
- ・問1と問3の男女比については、研修全体を通しての男女比を全体が10になるようにお答えください。入力は、男を入れると女は自動入力になっています。

市町名		
回答担当部署		
回答者氏名		
回答者職名		
電話番号		
FAX番号		
E-mailアドレス		
家庭教育担当者数		(人)
家庭教育支援関係事業予算		(千円)

※生涯学習課の家庭教育支援事業に関する予算の総額を御記入願います。  
(公民館等、出先機関の予算も含まれます。)

貴市町での家庭教育支援事業についておたずねします。

問1 家庭教育支援事業として、**学習機会の提供**を行っていますか。それぞれの項目に当てはまる選択肢を選んでください。

※ 『学習機会の提供』とは、家庭教育をテーマとした学習講座・学級等の開催、出前講座等の実施、保護者や親子への交流の場の提供等の取組の事です。

☆回答例							
イ	乳児の保護者	実施の有無 行っている	実施回数 その他 →	(その他) 乳幼児	(内容・テーマ) 月齢に応じた、生活リズムの話	連携先 ②・⑤・⑥	参加保護者の男女比 男 → 1 女 → 9

		実施の有無	実施回数	(その他)	(内容・テーマ)	連携先	※男を入力すると、女は自動で入る 参加保護者の男女比	
ア	妊娠中の保護者(夫を含む)	選択	選択 →				男 →	女 → 10
イ	乳児の保護者	選択	選択 →				男 →	女 → 10
ウ	幼児の保護者	選択	選択 →				男 →	女 → 10
エ	小学生の保護者	選択	選択 →				男 →	女 → 10
オ	中学生の保護者	選択	選択 →				男 →	女 → 10
カ	高校生の保護者	選択	選択 →				男 →	女 → 10
キ	一般市町民(年齢問わず)	選択	選択 →				男 →	女 → 10

- 連携先の選択肢
- |           |                 |           |
|-----------|-----------------|-----------|
| ① 学校      | ⑤ 家庭教育支援団体      | ⑨ その他     |
| ② 保健所     | ⑥ 家庭教育オピニオンリーダー | ⑩ 特になし    |
| ③ 保健福祉部局  | ⑦ 図書館           | ⑪ 把握していない |
| ④ 企業・事業所等 | ⑧ 幼稚園・保育園       |           |

問2 家庭教育支援事業として、相談機会を設けていますか。それぞれの項目に当てはまる選択肢を選んでください。

☆回答例							
ウ	小学生の保護者	実施の有無 他の世代の保護者も含めて行っている	連携先 ①・⑤	主な方法・手段 面接・面談	相談員 学校教育課職員	(その他) →	生涯学習課以外での実施 学校教育課 →

	実施の有無	連携先	主な方法・手段	相談員	(その他)	生涯学習課以外での実施
ア 乳児の保護者	選択		選択	選択	→	選択 →
イ 幼児の保護者	選択		選択	選択	→	選択 →
ウ 小学生の保護者	選択		選択	選択	→	選択 →
エ 中学生の保護者	選択		選択	選択	→	選択 →
オ 高校生 of 保護者	選択		選択	選択	→	選択 →
カ 障害がある子の保護者	選択		選択	選択	→	選択 →
キ 外国籍の保護者	選択		選択	選択	→	選択 →
ク 貧困等の課題を抱える家庭の保護者	選択		選択	選択	→	選択 →

- |           |                 |           |
|-----------|-----------------|-----------|
| 連携先の選択肢   |                 |           |
| ① 学校      | ⑤ 家庭教育支援団体      | ⑨ その他     |
| ② 保健所     | ⑥ 家庭教育オピニオンリーダー | ⑩ 特になし    |
| ③ 保健福祉部局  | ⑦ 図書館           | ⑪ 把握していない |
| ④ 企業・事業所等 | ⑧ 幼稚園・保育園       |           |

問3 家庭教育支援事業として、親子の体験活動、保護者同士の交流機会、異世代間の交流機会を行っていますか。それぞれの活動項目について当てはまる選択肢を選んでください。また、これらの活動を生涯学習課以外で行っている場合には、担当部課を、他の機関と連携して行っている場合には、連携先について下の選択肢の中から、いくつでも選んで記入してください。

☆回答例	親子の体験活動 (内容)	生涯学習課以外での実施	連携先	実施回数	参加保護者の男女比
ア 乳児の保護者	他の世代の → <input type="text"/>	保健福祉部局 → <input type="text"/>	⑪	年4回	男 → 5 女 → 5

※ 男を入力すると、女は自動で入る

	親子の体験活動 (内容)	生涯学習課以外での実施	連携先	実施回数	参加保護者の男女比
ア 乳児の保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10
イ 幼児の保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10
ウ 小学生の保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10
エ 中学生の保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10
オ 高校生保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10

	交流機会(保護者同士)(内容)	生涯学習課以外での実施	連携先	実施回数	参加保護者の男女比
ア 乳児の保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10
イ 幼児の保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10
ウ 小学生の保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10
エ 中学生の保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10
オ 高校生保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10

	交流機会(異世代)(内容)	生涯学習課以外での実施	連携先	実施回数	参加保護者の男女比
ア 乳児の保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10
イ 幼児の保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10
ウ 小学生の保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10
エ 中学生の保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10
オ 高校生保護者	選択 → <input type="text"/>	選択 → <input type="text"/>	<input type="text"/>	選択	男 → <input type="text"/> 女 → <input type="text"/> 10

連携先の選択肢		
① 学校	⑤ 家庭教育支援団体	⑨ その他
② 保健所	⑥ 家庭教育オピニオンリーダー	⑩ 特になし
③ 保健福祉部局	⑦ 図書館	⑪ 把握していない
④ 企業・事業所等	⑧ 幼稚園・保育園	

問4 生涯学習課として困難を抱える子育て中の家庭(貧困、障害、外国人など)に、特に行っている事業はありますか。

(具体的な内容)

- ア 行っている →
- イ 行っていない
- ウ 他部局で行っている

問5 貴市町では、次の人々に対して、家庭教育支援に関する事業や働きかけを行っていますか。(複数回答可)

- ア 若者(中・高・大学～20代前半)世代 (学習機会の提供、交流機会の提供、家庭教育関係の研修への参加呼びかけ等)
- イ 子育てを終えた世代 (学習機会の提供、交流機会の提供、家庭教育関係の研修への参加呼びかけ等)
- ウ 高齢者世代 (学習機会の提供、交流機会の提供、家庭教育関係の研修への参加呼びかけ等)
- エ 家庭教育オピニオンリーダーの団体 (スキルアップ等の研修実施、運営資金の補助等)
- オ 親学習プログラム指導者の団体 (スキルアップ等の研修実施、運営資金の補助等)
- カ その他 →
- キ 行っていない

問6 住民への家庭教育支援に関する情報提供には、どのようなものを利用していますか。(複数回答可)

- ア 広報誌
- イ チラシ
- ウ HP
- エ SNS等
- オ ケーブルテレビ
- カ タウン誌
- キ その他 →
- ク 情報提供は、行っていない

問7 貴市町で実施している、特色ある家庭教育支援事業を教えてください。

貴市町での家庭教育支援に関する施策や事業所との連携についておたずねします。

問8 家庭教育支援に関する施策を展開する上での課題は何ですか。(複数回答可)

- ア 事業予算が不足している
- イ 事業への参加者が少ない
- ウ 事業を展開するための情報が不足している
- エ 事業での指導者が不足、または今後、不足が見込まれる
- オ 事業の計画の作成・立案
- カ その他 →
- キ 特にない

問9 施策の立案や実施に際して必要な県の支援は何ですか。(複数回答可)

- ア 予算要求のための基礎データ等の情報提供
- イ 全県的な家庭教育支援に対する方針(条例等)の策定
- ウ 家庭教育支援に関する学習プログラムの提供
- エ 参加型学習の手法等の技術的な助言
- オ 家庭教育支援を推進する指導者の養成
- カ その他 →
- キ 特にない

問10 家庭教育支援に関する施策を展開する中で、企業・事業所等と連携した取組を行っていますか。

- ア 行っている
- イ 行っていない

問10-1 (問10でアと回答した市町がお答えください。)  
どのような連携をしていますか。

- ア 企業・事業所等での学習機会の実施 (行政側からの講師の派遣等)
- イ 企業・事業所等での相談機会の実施
- ウ 行政が主催する学習機会の場で、専門性を生かした企業・事業所等からの講師派遣
- エ 企業・事業所等の専門性を生かした、市民への相談機会の実施
- オ 企業・事業所等を会場とした、家庭教育支援のための見学会の実施
- カ その他 →

問10-2 (問10でイと回答した市町がお答えください。)  
企業・事業所等と連携した取組を行っていない理由は何ですか。(複数回答可)

- ア 必要性を感じていないため
- イ 必要性は感じているが予算がないため
- ウ 必要性は感じているが連携のための情報が不足しているため
- エ 必要性は感じているが連携のためのきっかけがないため
- オ 必要性は感じているが企業・事業所等の協力を得ることが難しいため
- カ その他 →

問10-3 (問10でイと回答した市町が答えください。)  
貴市町では企業・事業所等と連携して、次のような取組を行ってみたいと思いますか。

- ア 企業・事業所等での学習機会の実施 (行政側からの講師の派遣等)
- イ 企業・事業所等での相談機会の実施
- ウ 行政が主催する学習機会の場で、専門性を生かした企業・事業所等からの講師派遣
- エ 企業・事業所等の専門性を生かした、市民への相談機会の実施
- オ 企業・事業所等を会場とした、家庭教育支援のための見学会の実施
- カ その他 →

問11 企業・事業所等との連携に関して、必要な県の支援は何ですか。(複数回答可)

- ア 連携可能な企業・事業所等の情報提供
- イ 企業・事業所等の家庭教育支援への協力を促すための方針(条例等)の策定
- ウ 連携の際の学習内容等に関する助言
- エ 連携活動を円滑に行うためのノウハウの提供
- オ 必要ない
- カ その他 →

御協力ありがとうございました。  
全体を通して、家庭教育支援事業を進めるうえで日頃感じていることなどを御自由に記入ください。

公民館における家庭教育支援事業に関する取組状況調査 [ 調査票2 ]

資料3

調査に御協力いただき、ありがとうございます。  
 この調査は、栃木県内の各公民館等で行われている家庭教育支援事業に関する状況を把握し、今後の家庭教育支援の施策等に活用するためのものです。回答は統計的に分析します。それぞれの質問をよく読み、お答えください。

回答いただく際の注意点

- ・平成29年度の家庭教育支援事業についてお答えください。
- ・シリーズで行っているものは、全部で「1」とカウントしてください。(例)毎月行っているもの(12回実施)は、「1」と数える。
- ・内容・テーマ・回数、講師名、等は、できるだけ具体的に記入をお願いします。
- ・記述(ブルー系色)は、できるだけ具体的に記入をお願いします。
- ・選択(赤系色)は、プルダウンの選択肢から選んでください。

市町名	
施設名	
回答担当部署	
回答者氏名	
回答者職名	
電話番号	
FAX番号	
E-mailアドレス	
家庭教育担当者	(人)
家庭教育支援関係事業予算	(千円)

※公民館の家庭教育支援事業に関する予算の総額を御記入願います。

貴公民館での家庭教育支援事業についておたずねします。

問1 家庭教育支援事業として、学習機会の提供を行っていますか。それぞれの項目に当てはまる選択肢を選んでください。『学習機会の提供』とは、家庭教育をテーマとした学習講座・学級等の開催、出前講座等の実施、保護者や親子への交流の場の提供等の取組のことです。  
未実施のところは、空欄のままです。

		実施の有無	(内容・テーマ・回数、講師名、等) 記入例: 親子ふれあい体操、1回、〇〇体操教室の△△先生、親学習支援チーム
ア	妊娠中の保護者(夫を含む)	選択	
イ	乳児の保護者	選択	
ウ	幼児の保護者	選択	
エ	小学生の保護者	選択	
オ	中学生の保護者	選択	
カ	高校生の保護者	選択	
キ	子育てを終えた世代	選択	
ク	一般市町民(年齢問わず)	選択	

問2 家庭教育支援事業として、相談機会を設けていますか。それぞれの項目に当てはまる選択肢を選んでください。  
未実施のところは、空欄のままです。

		実施の有無	(内容・テーマ・回数、講師名、等) 記入例: 公民館への来館による相談受付、毎月2回実施、〇〇市保健センター職員
ア	乳児の保護者	選択	
イ	幼児の保護者	選択	
ウ	小学生の保護者	選択	
エ	中学生の保護者	選択	
オ	高校生の保護者	選択	
カ	障害がある子の保護者	選択	
キ	外国人の保護者	選択	
ク	貧困等の保護者	選択	

問3 家庭教育支援事業として、親子の体験活動、保護者同士のと交流機会、異世代間の交流機会を行っていますか。それぞれの活動項目に当てはまる選択肢を選んでください。  
また、連携先があれば、御記入ください。

親子の体験活動		(内容・テーマ・回数、講師名、等) 記入例: 虫かご作り、1回、公民館職員
ア 乳児の保護者	選択	
イ 幼児の保護者	選択	
ウ 小学生の保護者	選択	
エ 中学生の保護者	選択	
オ 高校生の保護者	選択	

交流機会		(内容・テーマ・回数、講師名、等) 記入例: 夏休み子ども祭り、1回、家庭教育オピニオンリーダー
ア 乳児の保護者	選択	
イ 幼児の保護者	選択	
ウ 小学生の保護者	選択	
エ 中学生の保護者	選択	
オ 高校生の保護者	選択	

問4 貴公民館で実施している、特色ある家庭教育支援事業を教えてください。

御協力ありがとうございました。  
全体を通して、家庭教育支援事業を進めるうえで日頃感じていることなどを御自由に記入ください。